



先輩職員からのメッセージ

「行政」を仕事にする ということの楽しさ

保険局 調査課長補佐

みやざき ゆうすけ

宮崎 雄介

年金局数理課

労働基準局賃金課

年金局企業年金・個人年金課

職業安定局雇用政策課

福島県伊達市地方創生担当理事

医政局地域医療計画課

等を経て現職

「国家公務員」「厚生労働省」と聞くと、公務員って面白くなさそう、厚生労働省って大変そう、といったイメージがありませんか？

厚生労働省で国家公務員として働くことの魅力は、幅広い分野の業務経験を通じて、自らが成長しつつ、同じ志を持った仲間とともに、日本の将来のための仕組みを作っていけることです。

以下、私の行政経験を記載します。厚生労働省の魅力を伝えきるには余白が足りないので、ぜひ、就職説明会や官庁訪問などで、お話を聞いていただければ幸いです。

まず、入省直後は、年金制度の勉強、統計データの整理、財政検証に向けた資料作成など、基本的な業務を通じて、行政の仕事の基礎を学びました。

現状を正確に捉えた適確な資料の作成は、基本的な一方で、政策実現に向けた最も重要な業務の一つであり、数理・デジタル職では、まずはこれらを経験します。

係長に昇任後は部下を持ち、厚生労働省として外部関係者への説明にも対応します。裁量が大きくなり、責任も重くなりますが、仕事はよりおもしろくなってきます。

よりよい仕組み作り（≒制度改正）の実現に当たっては、様々な利害関係者との調整が必要です。年金受給者の権利を守るため、民間の年金数理人と議論することも。関係者の理解を得るためにどのような説明をすべきか、入省から培ってきた統計や制度の知識が生きてきます。

また、市役所に出向し、人口減少地域における持続可能な仕組みづくり（地方創生）を担当。市長の公約を具体的な計画にして、国の補助金を確保し、市議会を通して事業を実現しました。

日常のちょっとした助け合いを地域通貨でつなぐ支え合い事業、バス・私鉄の存続を検討する地域公共交通網など、厚生労働分野以外にも関わりつつ、目の前にいる市民のために働く楽し

さは、国とは違ったよい経験となりました。市役所の同僚とは今も交流が続いています。

その後、厚生労働省に戻り、高齢者医療の法改正に関する影響試算や、地域医療の将来ビジョン（地域医療構想）に関する分析など、制度改正に向けた業務に従事。現状把握のためのデータ分析から、改正案の検討・影響試算まで、政策議論全般に関わりました。

そして現在は、保険局で課の全体の業務のマネジメントや制度改革に関する試算の検討を行っています。

おわりに

ほとんど業務に関する内容になってしまいましたが、仕事終わりには仲間と飲みに行くなど、プライベートでも楽しいことはたくさんあります。

仕事なので、大変なときもありますが、ここには信頼できる仲間がいて、一緒に乗り切っていける環境があります。労働環境も昔と比べて大幅に改善しています。

我々とともに、日本の将来のために働いてみませんか。



石破地方創生大臣（当時）と

ある数理・デジタル職員の日

年金局数理課

かわち こうへい

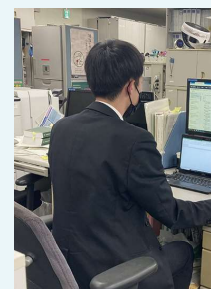
川地 航平

年金局数理課は公的年金の数理的な面を所管している部署で、私は会社員や公務員が加入する「厚生年金」部分に係る作業を担当しています。数理課の大きな業務に年金財政の健全性を検証する「財政検証」と呼ばれるものがあり、最新の結果を令和6年7月に公表しました。

1日の流れ

8:00 ~ 12:30

1日はメールの確認から始まります。まずは届いてるメールに目を通し、優先順位等注意到意しつつやるべきことを整理します。また、朝メールという取り組みがあり、当日の予定や体調を係内に共有します。この日は数理課保有システムの調査研究をしていただいている事業者との会議に参加し、システムの現状や問題意識についてディスカッションしました。



12:30 ~ 13:30

お昼休みは部局ごとに異なり、私が所属する年金局は少し遅めの12時30分から始まります。昼食はその日の気分によって決めているのですが、この日は課の同僚と近くのイタリアンの店にいきました。



13:30 ~ 16:30

年末に公表する資料の作成をします。数字を間違わないように細心の注意を払って作業を行います。

15:30 ~ 18:30

作成した資料について担当者間で打ち合わせを行いました。数字が間違っていないかの確認はもちろん、結果からどんなことがいえるか、ということも考える必要があります。完璧だと思って作った資料でも、他者の目から見るとすぐにミスが見つかったりします。他者の新鮮な目で確認してもらうことの重要性を日々感じています。



16:30 ~ 18:00

年金の収支計算を行うプログラムの改修作業を行いました。プログラムについては入省後に本格的に勉強しました。プログラムを改修したら出力結果を見て、おかしいところがあればまた改修する、の繰り返しです。この日は目標にしていたことが早めに終わったため、そこで作業を切り上げました。

18:00

退庁前に本日行うべき作業が残っていないか確認します。また、翌日以降の予定もざっと確認しておきます。時期によっては帰りが遅くなることもあるので、可能な日は早めの退庁を心がけています。

退庁



まっすぐ帰宅することが多いですが、本屋に寄ったり、事前に予定を合わせて友人と飲みに行ったりすることもあります。

休日の過ごし方



社会人になると自分のやりたいことをある程度自由にできるので、学生時代にできなかった好きなこと、興味のあることをして過ごすことが多いです。カフェでゆっくり過ごしたり、電子ピアノを弾いたり、オンライン英会話をやってみたりと広く浅くいろいろなことを試しています。

